

第30回 女と健康フェスティバル

「やっぱり絶対!

セクシュアル・リプロダクティブ・ライツ&ヘルス」

～わたしにメチャクチャ関係あるやん!!

女の人権・基本の「き」～

2020年3月1日(日)

10:00～16:30

会場:ドーンセンター

(大阪府立男女共同参画・青少年センター)

定員:150名(先着順)

(前売券ご購入の方を優先にて、定員になり次第締め切ります)

参加費:前売券 2,000円 / 当日券 3,000円

※22歳以下は無料

午前の部 10:00～11:50

●受付 9:40～

各分科会会場

*各分科会は前売券ご購入の方を優先にて、
定員になり次第締め切ります。

●分科会① 於:4階 中会議場3(定員40名)

「女の人権を考えよう!～ところで“性”って人権なの?～」

●分科会② 於:4階 大会議場3(定員50名)

「身体感覚をとりもどそう」

●分科会③ 於:4階 大会議場1(定員60名)

「リプロダクティブ・ライツ&ヘルス 真の同意とは」

※分科会はすべて女性限定です。

午後の部 13:00～16:30

◆受付 12:40～

1F パフォーマンススペース

◆オープニングパフォーマンス

森本 有紀子さんによる笛子(ディーズ)演奏

※友情出演 奥田八代以 先生

◆全体会 基調講演

*「女性の人権を守る

～女性の生活を支える司法のあり方～」

雪田樹理さん(弁護士)

*「そもそも、私たちにとっての

リプロダクティブ・ライツ&ヘルスとは」

加藤治子さん(阪南中央病院 産婦人科医)

◆基調講演 講師紹介◆

雪田 樹理 さん

弁護士。2002年1月に女性共同法律事務所を開設し、主としてドメスティックバイオレンスや性暴力・セクシュアルハラスメントの事件活動を行なっている。また国際人権NGO ヒューマンライツ・ナウの理事・関西グループ事務局長を務め、2011年には国連「女性に対する暴力に関する立法ハンドブック」を翻訳出版。

大阪弁護士会人権擁護委員会性暴力被害検討プロジェクトチームにて「性暴力と刑事司法」(2014年)を出版。

2017年「非特定営利活動法人いくの学園」理事長に就任。

「性暴力救援センター・大阪 SACHICO」の立ち上げから関わり、現在は理事を務めている。

加藤 治子 さん

阪南中央病院 産婦人科医師。『女性の一生を生活背景も含めて診ることのできる科』を目指し、診療現場でDVや性暴力被害者と接する中で、性暴力は人権問題であり、医療問題と認識。

2004年から「はるウィメンズクリニック」をウィメンズセンター大阪内に開設。2010年4月に日本で最初のワンストップセンターとして「性暴力救援センター・大阪 SACHICO」を阪南中央病院内に開設。代表を務める。

◆笛子(ディーズ)奏者紹介◆

森本 有紀子 さん

2003年に中国民族楽器の二胡に会い、色々な楽器に興味を持ち始める。

2007年より笛子を始め、寺田瑞穂氏、奥田八代以氏に師事。第13回中国音楽コンクール銅賞 & 神戸華僑総会賞。

第4回中国音楽国際コンクール1等賞受賞。

〈中国楽器：笛子(ディーズ)とは〉

竹で出来ていて、シンプルな感じの楽器に見えますが、とてもデリケートな楽器です。吹き口の下の部分に穴があり、その穴に「葦」の茎の繊維で出来た薄い膜を貼り、それを吹いて振動させることで音が鳴ります。この膜を貼る作業は、演奏者が手作業でおこないます。膜の状態で音色も左右されてしまうこともあるので気を使います。破れると音が鳴らなくなってしまいます。笛子は、吹く人によって音色がほんとに変わります。個性がよく出る楽器です。

◆前売券購入方法◆

●郵便振替口座

⇒ ご入金確認後、前売券を発送いたします

郵便振替口座 00900-8-45309

口座名義 ウィメンズセンター大阪

* 振込用紙の通信欄に 希望の分科会番号とお名前・年齢・住所・電話番号を必ず明記してください。

※前売券の直接購入については、ウィメンズセンター大阪までお問合せください。

◆お問合せ先◆

ウィメンズセンター大阪

(月曜日～土曜日 10:00～17:00)

TEL 06-6632-7011 FAX 06-6632-7012

E-mail wco@wco-net.jp

http://wco.life.coocan.jp/

Homepage



Facebook



◆アクセス◆

京阪「天満橋」駅、Osaka Metro (旧大阪市営地下鉄) 谷町線「天満橋」駅 ①番出入口から東へ約350m。

JR 東西線「大阪城北詰」駅下車。②号出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

大阪シティバス「京阪東口」からすぐ。



ウィメンズセンター大阪とは

1984年「女のためのクリニック準備会」として活動スタート。2004年からは大阪・天王寺で「はるウィメンズクリニック」を併設した「女のための健康支援センター」に。「女(わたし)のからだは女(わたし)のもの」をモットーに、電話相談やカウンセリング、ボディケア&リラクゼーション(鍼灸・アロマ等)などを実施するとともに、講師派遣や各種講座の企画も行い、女性の身体と性、生き方について発信を続けている。

また2010年4月に日本で初めて開設した性暴力被害者支援のためのワンストップセンター「性暴力救援センター・大阪 SACHICO」の事務局として支援員の養成、育成等にも携わっている。

また、全国各地の性暴力救援センターの設立、および、運営のサポートも行なっている。